

ケータイ・スマホ家族の約束事

① 使用時間

- ★ 1日()時間以内
- ★ 夜()時以降、食事や勉強中、トイレや入浴中には使用しない。

② 使用内容

- ★ フィルタリング(有害サイトアクセス制限サービス)を設定する。
- ★ 有害サイトや違法サイトへアクセスしない。
- ★ 個人情報(名前や住所、写真等)や悪口を書き込まない。

③ 利用料金

- ★ 利用明細で状況を確認する。
- ★ 1か月()円以内にする。

④ 我が家の特別ルール

うえの約束を破った場合は、ケータイ・スマホを返却し、家族で話し合います。

子どものサイン

年 月 日

保護者のサイン

この約束事は家族で大切に保管し、いつも見えるところに掲示しておきましょう。

困ったときの相談窓口

もしもの時や困ったときは、一人で悩まず、大人に相談しましょう。

ネットを利用した犯罪や、架空・不当請求の被害を受けたら

- 高知県警サイバー犯罪相談窓口 088-875-3110
- 高知県立消費生活センター 088-824-0999
- 少年サポートセンター(ヤングテレホン) 088-822-0809
- 各所轄の警察署 ()

ネットいじめに悩んだら

- 高知県心の教育センター(電話相談) 088-833-2922

個人情報や書き込みで悩んだら

- 高知県教育委員会事務局人権教育課 088-821-4932

保護者の皆様へ!

安全に使おう! ケータイ・スマホ

子どもを守る3つの方法

1 フィルタリングの設定をしましょう!

2 使用状況の把握をしましょう!

3 家庭でのルールを決めましょう!



ケータイやスマホは、子どもたちにとって、インターネットを通じての情報検索や、どこからでも簡単に連絡が取れる大変便利なツールです。一方、使い方を間違えると、知らぬ間に有害情報に触れたり、犯罪に巻き込まれたりする危険性もあわせてもっています。

子どもたちがケータイやスマホを安全に使えるように、保護者が使用状況を確認し、使い方についてのルールを決めるなど、子どもがネット上のトラブルに巻き込まれないようにしっかり見守っていきましょう。

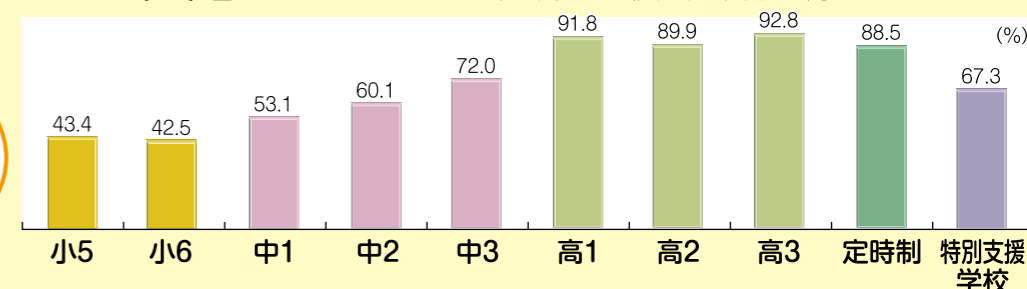
高知県の子どもたちの実態は?

H24年度実施「子どもたちの携帯電話・スマートフォン等の利用実態調査(高知県教育委員会)より

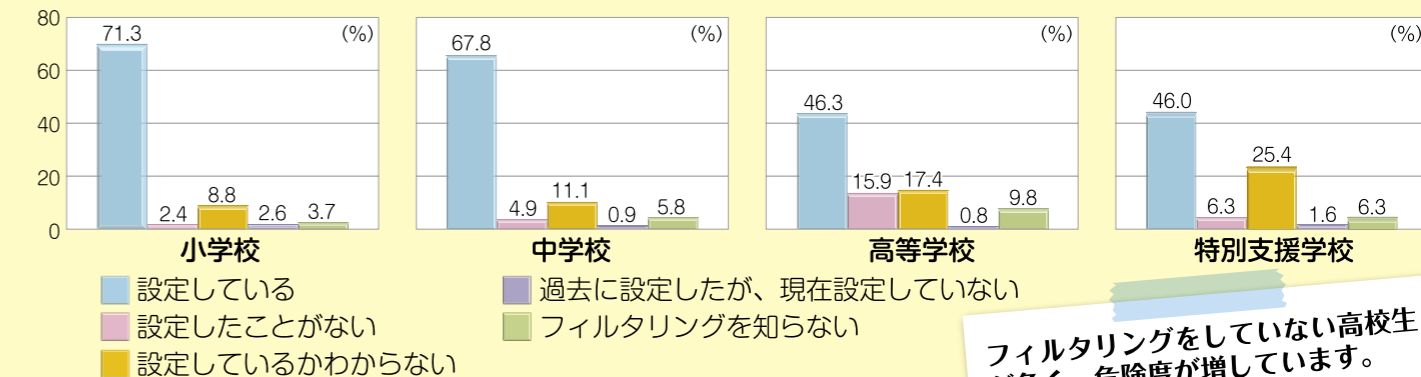
★学年別所持率



中3から高1にかけて、所持率が急激に高くなっています。



★フィルタリングの設定率



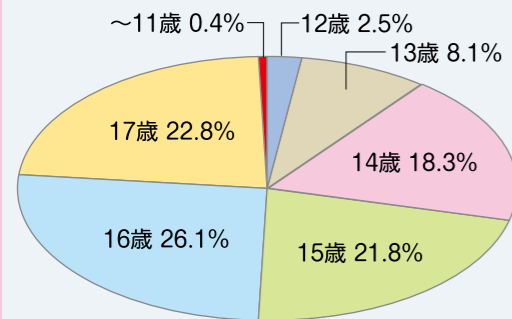
フィルタリングをしていない高校生が多く、危険度が増えています。

フィルタリングとは、子どもに見せることが好ましくない有害サイトへのアクセスを制限し、インターネット上のトラブルから子どもを守ることを目的に作られたサービスです。

インターネットに関わるコミュニティサイトでのトラブルの実態は？

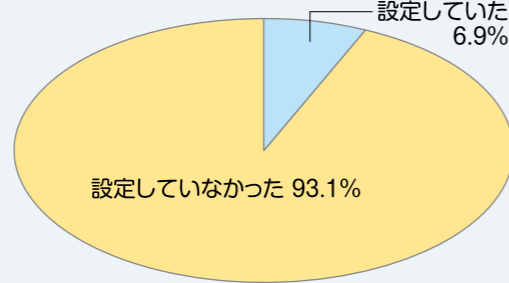
※コミュニティサイト:友だちをつくる交流サイト

被害にあった子どもの年齢は？



サイトで知り合った人と実際に会うことで、犯罪被害にあっているケースもあります。

被害にあった子どものケータイのフィルタリング設定状況は？

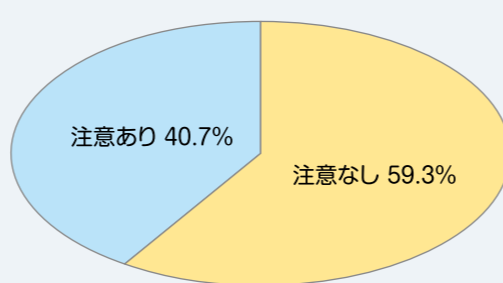


警視庁統計資料H24年「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果」より

要注意!

フィルタリングを設定していても、一部有害サイトにアクセスできるものがあり、犯罪に巻き込まれる危険があるので、注意が必要です。

ネットの危険性について保護者から子どもへの注意喚起は？



★子どもたちのネット上のトラブルの実態は？(多いものから順に)

H24年度実施「子どもたちの携帯電話・スマートフォン等の利用実態調査(高知県教育委員会)」より

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
1位	チェーンメール	チェーンメール	チェーンメール	チェーンメール
2位	交友関係でのもめ事・ケンカ	交友関係でのもめ事・ケンカ	架空・不正請求	交友関係でのもめ事・ケンカ
3位	強要や脅迫等のメール	架空・不正請求	交友関係でのもめ事・ケンカ	架空・不正請求

チェーンメールとは
「不幸の手紙」のような、多くの人に斉送信を指示するメールのことです。転送せず、すぐに削除しましょう!

★その他のトラブルの状況

ワンクリック詐欺

個人情報の流出

ケータイ依存

中傷・悪口・いじめ

子どものケータイ・スマホの使用状況や困っていることなどを話題に、家族で話し合ってみましょう。

無料通話・メールアプリの問題

※アプリ:コンピューターのアプリケーションソフトウェアの略

主にスマホで使われるアプリの中に、無料で音声通話ができたり、かわいいキャラクターの画像スタンプを使って、メール送信ができたりするものがあります。そのアプリは、携帯電話会社や機種を問わず、メールの送受信や通話ができるなどの特徴から、利用者が急増していますが、次のようなトラブルが実際に起こっています。



アプリをインストールする際の心配

1.アドレス帳が漏れる!

何も考えずにアプリをインストールすると、アドレス帳の全てのデータがサーバーに送信され、知らない間に個人情報が漏れいすことになる。

2.勝手に友だちが追加!

自分の番号を知っている人がアプリをインストールすると、自分とはつながる意識がなくても、その人のアドレス帳に登録されている全く知らない人とつながる可能性が高い。

3.知らない人が友だちに?!

友人が以前使っていた電話番号がアドレス帳に残っていて、その番号が別の人の電話番号になった場合、その人が友だちになる可能性がある。

実際に起こっているケース

1.このメッセージは誰?

ハンドルネーム(名前)であるIDをどこかに公開した場合、知らない人が友だちになってメッセージを送ってくる。また、ネット上で知り合った人と実際に会って、犯罪に巻き込まれたケースが多くある。

2.知り合い同士のグループ内でいじめ・トラブルに?!

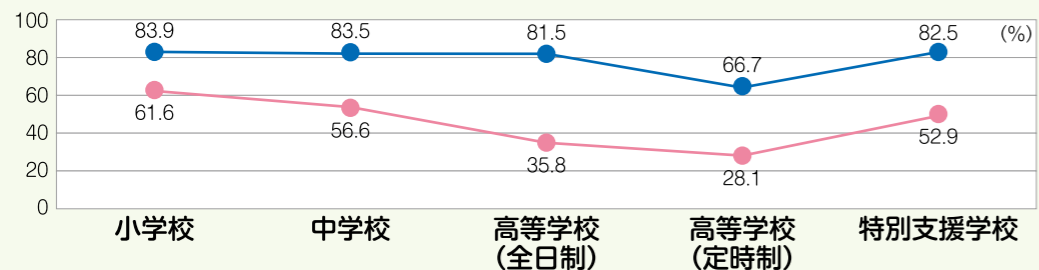
複数人で一緒にトークをすることができる場所(グルプトーク)で、悪口などの誹謗中傷を受けることがあったり、グルプトークから退会させられ、仲間はすれにされたりすることがある。また、顔写真や他人に知られたくないことをネット上に掲載されて、さらし者にされることがある。

3.迷惑メール業者から架空請求?!

迷惑メール業者から送られてくるメッセージに従って会員登録などをしてしまうと、架空請求が送られてくる。また、会員登録や個人情報の返信などをしたことで、迷惑メールが多く送信されるようになり、知らない人からメッセージが送られてくる。

家庭でのルールは必要なの?

★使用について、保護者と子どもでルールを定めている割合



保護者は、ルールを決めていると思っていても、子どもにその思いが届いていない場合が考えられます。

ケータイ・スマホ依存にならないためにも、家庭でケータイ等の使用について話し合い、ルールを決めましょう!

これだけは家庭で話し合いたいルール

- どんな目的で使うのか。本当に今、必要かどうか。
- 目的に合った機能を設定する。(フィルタリングを外さない、使用金額の上限を決めるなど)
- 自宅で使用する場所をリビングなどに限定する。(自分の部屋にこもって使用しない。)
- 子どものIDやパスワードの管理や、利用しているサイトやアプリなどの確認を時々行う。
- 使用する時間帯を決め、深夜は使わない。1日の使用時間を決める。
- 名前や写真、住所等の情報をネット上にむやみに公表しない。他人の個人情報は絶対に書き込まない。
- 友だちを傷つけるような使い方をしない。メール送信前に受け取る側の気持ちになって読み返す。
- ケータイやスマホを使用する際に、困ったことがあったら、すぐに大人に相談する。
- ルール違反があったらケータイやスマホの使用を一旦止めて、話し合う。

~ インターネットに存在する有害サイト ~ フィルタリングの設定は必要なの?



ゲーム機にもネットにつながるものがあるので、要注意!

人権侵害

犯罪・薬物

★ケータイの購入時にフィルタリングを

- 「名義」は「保護者」にしましょう。「子ども」にすると、フィルタリングやGPS機能の設定変更が子どもの自由になります。

子どもが使用するので、フィルタリングをお願いします。

どなた様のご使用になりますか?

★今からでもできるフィルタリング

ケータイショップや各社のサイト等から、簡単に申し込むことができます。

- docomo アクセス制限サービス
- au 安心アクセスサービス
- SoftBank ウェブ安心サービス
- WILLCOM フィルタリングサービス

ケータイ・スマホの購入時には、**フィルタリング**を設定しましょう。特に、スマホはインターネットに接続する方法が携帯電話回線(3G回線)と無線LAN(Wi-Fi)接続の2つあり、それぞれにフィルタリングが必要です。